

平成25年度佐賀環境フォーラム実績報告

1 実施体制

佐賀大学、学生スタッフ、市民スタッフ、佐賀市で構成する実行委員会形式

2 受講等

(1) 受講要件 高校生以上

(2) 受講料 (年間：※スポット受講は講義のみ)

- ◇ 一般 : 5,000円
- ◇ 学生 : 1,500円 ※佐賀大学生は無料
- ◇ 法人 : 1口 5,000円 ※1口で1人枠とし、誰が受講しても可
- ◇ スポット受講者 : 1講義につき 500円
- ◇ スポット受講者(学生) : 1講義につき 200円

(3) 参加者数 ※[参考：昨年度参加者数]

- ◇ 一般 : 18名 [28名]
- ◇ 法人 : 5社 [6社]
- ◇ スポット : 19名 [24名]
- ◇ 佐大生 : 32名 [41名]
- ◇ スポット(学生) : 2名 [1名]
- ◇ 学生(佐大生以外) : 0名 [7名]

3 事業概要

(1) 講義

期間 : 平成25年5月14日(火)から平成25年7月11日(木)まで(全12回)

時間 : 午後6時30分から午後8時30分まで(※質疑応答含む)

会場 : 佐賀大学教養教育2号館 211番教室

講義内容	所属等	講師名	参加者数		
			一般	学生	合計
環境問題総論・佐賀環境フォーラムについて	佐賀大学 総合分析実験センター准教授 佐賀環境フォーラム実行委員会 事業部長	兒玉 宏樹 氏	27	23	50
数値流体シミュレーションと 諫早開門問題について	佐賀大学低平地沿岸海域研究センター 准教授	濱田 孝治 氏	24	22	46
洋上風力の可能性と振り子式潮流発電の開発	岡山大学大学院 環境生命科学研究科 社会基盤環境学専攻 准教授	比江島 慎二 氏	27	24	51
生物と酸素分子	佐賀大学 工学系研究科循環物質化学科 循環物質化学講座 教授	鯉川 雅之 氏	23	26	49
エネルギーと経済 － 安定供給を支える持続可能な社会 －	東京大学大学院 新領域創成科学研究科客員教授	浅野 浩志 氏	26	26	52
久羅下(クラゲ)なす漂えるとき “クラゲ発生”からみえてくる閉鎖性海域の諸問題	佐賀大学低平地沿岸海域研究センター 特任助教	藤井 直紀 氏	19	23	42
温暖化対策における 「共通だが差異ある責任」について	佐賀大学 文化教育学部 欧米文化講座 准教授	吉岡 剛彦 氏	21	25	46
未来に向けた新エネルギー	自然科学研究機構 核融合科学研究所 所長	小森 彰夫 氏	25	24	49
3・11以降のエネルギーと環境の課題 －原子力発電の技術的位置－	東京大学 名誉教授	井野 博満 氏	28	23	51
～アフリカの真珠「ウガンダ共和国」の真実～	JICA九州	小林 直子 氏	20	25	45
佐賀県の淡水魚 ～人と自然のコラボレーション～	佐賀県立中原特別支援学校 教頭	田島 正敏 氏	20	24	44
グローバル資本主義と環境等の問題	佐賀大学 総合分析実験センター准教授 佐賀環境フォーラム実行委員会 事業部長	兒玉 宏樹 氏	24	26	50

(2) 体験講座

1) 環境学習会

【日時】平成25年6月 1日 (土)

【目的】自然や環境について理解することで、自然環境を守り、育むという環境保全意識を増進することを目的としている。

【内容】福岡県青少年科学館での体験学習

2) ごみ探検隊

【日時】平成25年6月15日 (土)

【目的】佐賀大学本庄キャンパス構内のごみの分別について調査することで、3Rや循環型社会の基礎を学び、ごみの減量化に努める環境マインドを養うことを目的としている。

【内容】本庄キャンパス内に設置されているごみ箱の中身を調査・分別した。今年度は佐賀大学スーパーネットの学生がごみの分別に関する説明をし、参加者の指導を行った。

参加者数 () 内は昨年度の参加者数

内 容	一般	学生	スタッフ	計
環境学習会	6 (11)	4 (7)	5 (4)	15 (22)
ごみ探検隊	3 (0)	20 (50)	10 (6)	33 (56)
計	9 (11)	24 (57)	15(11)	48 (78)

(3) 現地見学会

【日時】平成25年8月7日 (水)

【内容】環境に関連する施設の現地見学。以下の2コースのうち1つを選択。

午前) 1、2コース共通 佐賀市下水浄化センター (佐賀市西与賀町)

午後) 1コース 有明ソーラーパワー (熊本県長洲町)

2コース クリーンパークさが (唐津市鎮西町)

参加者数

コース	一般	学生	スタッフ	計
1コース	7	17	4	28
2コース	1	4	2	7
計	8	21	6	35

(4) ワークショップ (WS)

1) グループWS

①水環境班 ②環境教育班 ③チャリツーリズム班

【スケジュール】

第1回全体会 5月14日 各グループの紹介

中間報告会 11月16日 研究の途中経過の報告

研究成果発表会 1月25日 研究成果の発表

ア 主な研究内容と研究成果

①水環境班

【内容】佐賀市域の水環境のあり方について研究することを目的として、佐賀市内の河川などの水質等を調査する。

【成果】天祐寺川の水環境調査を行った。

天祐寺川の水質や絶滅が危惧されているタナゴ類などの水生生物の生息環境などを調査し、天祐寺川の水環境のデータを得た。

今年度は東与賀地区の水路に水生生物を傷つけないようなトラップを設置するなどの工夫をして、調査を実施した。(トラップを設置するには県の許可を必要とした。)

②環境教育班

【内容】 幼保園児を対象とした環境教育を構築することを目的として、幼稚園・保育園等で紙芝居やごみ分別ゲーム等を実施する。

【成果】 年齢層にあわせた紙芝居やごみ分別ゲームなどを制作するなど、昨年以上の工夫をし、園児に「ものを大切に作る心」や「ごみを分別することによるリサイクルの大切さ」等の環境教育により、園児の関心を高めることができた。

今年度は特に小城市においても活動をし、佐賀市の域を超えた活動に広がってきた。

③チャリツーリズム班

【内容】 佐賀地域の自然や歴史・文化遺産を活用した観光(エコツーリズム)の確立と自転車利用の促進を目的として、佐賀地域の自然や歴史・文化遺産の調査や、イベントでレンタサイクル事業を実施する。

【成果】 長崎街道沿いの歴史・文化財などの市内の観光地の調査や学内放置自転車を活用した「再生自転車」を使用しバルーン大会でレンタサイクル事業を実施した。

今後は、佐賀市中心市街地で活動している街づくり機構「ユマニテさが」と連携し、街中にレンタサイクルの拠点を設け、佐賀城下ひなまつりでのさらなる活動につなげることとしている。

2) インターンシップ型WS

【派遣の法人】

①元気・勇気・活気「三気の会」 ②温暖化防止ネット

【スケジュール】

第1回全体会	5月14日	各グループの紹介
研究成果発表会	1月25日	研究成果の発表

ア 主な研究内容と研究成果

①元気・勇気・活気「三気の会」

【内容】 自然環境が維持、保全される社会を実現するため、人と環境に優しい無農薬・無化学肥料で安全、安心の農作物作りを目指す有機農業の普及を図っている。

【成果】 これまで気にしていなかった「有機野菜」について学ぶことができた。有機野菜は環境にも健康にもよい食材であることがわかった。なにより自分でつくることによって有機野菜に愛着がわき、自炊しようという意識になった。さらに野菜を購入するときは値段だけを考えて購入していたが、それを改めるようになった。

②温暖化防止ネット

【内容】 電気自動車の普及、エコドライブの推奨、緑のカーテンの推進など、地球温暖化を抑制する活動を市民レベルで実践し、啓発に取り組んでいる。

【成果】 市民一人ひとりが少しでも意識・行動を変えることで、温暖化の防止に貢献できることを学んだ。温暖化防止ネットでの活動の中で、子どもと触れ合う機会があったが、次の世代のために、何ができるか考えるきっかけになった。

(5) イベント（平成「打ち水」夏の陣2013）

○平成打ち水夏の陣2013

広く打ち水の実施を呼びかけることにより、市民や事業所等に対して省エネをはじめ、環境に配慮する意識を向上してもらったきっかけとした。

日時：平成25年8月3日（土）15:00～16:30

場所：佐賀城本丸歴史館

参加者：約40名

(6) 終講式

【日時】平成26年1月25日（土）15:20～15:30

【修了者数】

①一般 13名（18名中）②法人 4社（5社中）